(公財) 日本中学校体育連盟 (公財) 日本水泳連盟

## 令和4年度 全国中学校体育大会 第62回 全国中学校水泳競技大会の変更等について

【セントラルスポーツ宮城G21 プールサブプール (短水路) での開催決定経緯について】 3月 16 日に発生した福島県沖地震の被害により、セントラルスポーツ宮城G21 プール (メインプール・ダイビングプール) の天井が一部崩落しました。改修工事に時間を要することから、同施設メインプールでの大会開催は不可能となりました。

県内、東北各県、さらには東北以外の施設での開催を各方面から模索しましたが、いずれも 条件面で折り合いがつかず、一時期は中止もやむなしという状況になりました。しかしながら 全国大会への参加を目指して日々努力してきた生徒の気持ちを考えると、形を変えてでも実施 できないかと日本中体連、日本水泳連盟、宮城県実行委員会で協議を重ね、競泳競技について は同施設のサブプール(短水路)で大会を開催する運びとなりました。これまで全国中学校水 泳競技大会を短水路で実施したことはありませんが、選手のために取り得る最善策として行わ せていただく措置です。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何卒ご理解賜りますように お願い申し上げます。またこの措置により下記の通り、例年と大きく実施内容等に変更が生ず ることも併せてご承知おきください。

## 【競技会の会期について】

宮城県内で開催予定の全国中学体操競技が同様に震災の影響で急遽会場を変更することとなり、水泳会場がある宮城県総合運動公園内のアリーナで開催されることになりました。限られた施設の中で役員や選手控え場所確保のため、当初予定されていた8月17日~19日から、8月18日~20日に変更することになりました。

## 【競技会の日程・リレー種目について】

本来のサブプールを大会会場とすることから練習プールを同競技会場に確保できません。競技日程については、競技の合間に練習(アップ・ダウン)の時間を設定するなど、大幅な変更を余儀なくされております。このため競技順序についても例年とは異なる設定となります。

また、本大会ではリレー競技は行いません。大会会場が非常に狭く、リレー選手を受け入れると競技前・競技中の練習で統制ができないこと、また感染症対策を含めた選手の安全を第一に考えると人数制限を行わざるを得ません。リレーにかけて本大会出場を目指してきた選手の皆さんには本当に申し訳ありませんが、断念せざるをえないと判断させていただきました。

ただし、リレー競技を実施しないことを受け、都道府県の全中予選大会において、全中リレー競技の参加標準記録を突破したチームおよび予選大会の記録をプログラムに掲載いたします。また、全てのリレーチームのメンバーに、全国大会に出場する実力のあるチームの一員であることを認める認定証を発行いたします。

## 【競技会の公開・選手の控え場所について】

大会会場となるサブプールには大人数を収容できる観客席がありません。このことから本大会は無観客での開催とさせていただきます。またプールサイドやプール上部も狭小なことから控え場所として隣接するサブアリーナを準備させていただきます。詳細は後程お知らせしますが、大会会場内では AD カードによる入場制限および通過制限をかけさせていただきますことをご了承願います。